



PRESS RELEASE

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

<Tokyo 2020.NEWS-2018-202>

2018年10月3日

株式会社ECCとの東京2020 スポンサーシップ契約について

東京2020組織委員会は、以下のとおり、東京2020 スポンサーシップ契約を締結しましたので、お知らせします。

■ 契約内容

東京2020 オフィシャルサポーター

■ 契約の相手方

会社名：株式会社ECC

本社：大阪府大阪市

代表者：代表取締役社長 山口 勝美（やまぐち かつみ）

■ 契約カテゴリー

オフライン語学トレーニングサービス

■ 山口 勝美 株式会社ECC 代表取締役社長コメント

このたび、オフィシャルサポーターとして東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参画できますことを大変光栄に思います。ECCでは「国際社会で活躍できる人材の育成」という理念に基づき、世界で活躍する人、また自己の可能性に挑み努力する人を応援しています。東京2020大会において、オフラインの語学教育を通してアスリートをはじめ、スポーツ運営や文化活動のサポートをし、国際間の人々の交流を通じ世界平和に寄与していきたいと考えています。

The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Gold Partners



TOKYO 2020

■ 森 喜朗 東京 2020 組織委員会会長コメント

このたび株式会社ECCをオフィシャルサポーターとしてお迎えできることになりました。ECCは1962年の創業以来、語学学習を通じて「人」を育て、教育機関として近代的なセンスと国際的な感覚を持つ人材の育成に取り組んでこられました。東京 2020 大会を通じて、一人でも多くの人々が大会ビジョンの一つでもある多様性と調和の重要性を再認識し、共生社会をはぐくむ契機とするために、力強いサポーターになって頂けることと期待しております。

■ 東京 2020 スポンサーシッププログラムについて

オリンピックのスponsorシッププログラムは4つの階層からなり、最上位のものがIOCのオリンピックパートナープログラムです。このプログラムにより東京 2020 をご支援いただいているワールドワイドオリンピックパートナーは、コカ・コーラ、アリババ、アトス、ブリヂストン、ダウ、GE、インテル、オメガ、パナソニック、P&G、サムスン、トヨタ、ビザの各社です。その他の3つの階層は国内向けのスponsorプログラムになり、国内最高水準の東京 2020 ゴールドパートナー、東京 2020 オフィシャルパートナー、東京 2020 オフィシャルサポーターからなります。東京 2020 が実施するマーケティングにおいて中核となる国内契約スponsorは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を含む、2020年12月末までのオリンピック・パラリンピックの日本代表選手団に関するパートナーであり、呼称やマークの使用などをはじめとした権利を行使することが可能となります。東京 2020 は、本プログラムにご参加いただくスponsor各社とともに、さまざまな施策を通じて、より豊かな日本と世界の未来に貢献していきます。

■ オフィシャルサポーターの主なスponsor権利

呼称・マーク類・関連素材使用权／リコグニッションプログラム／関連事業協賛権／商品・サービスのサプライ機会／マーケティングサポート等

【本件に関するお問い合わせ】

東京 2020 組織委員会

広報局広報部戦略広報課

電話：03-6631-1949 / FAX：03-3502-8874

担当：早川、井戸、伊藤、女屋

Email: pressoffice@tokyo2020.jp

東京 2020 の大会ビジョン

スポーツには、世界を変える力がある。2020年は、史上最もイノベティブで、世界中にポジティブな変革をもたらす大会とする。

1) 全員が自己ベスト 2) 多様性と調和 3) 未来への継承

<https://tokyo2020.org/>